



ふるさと の風物

(木葉猿)

江戸時代よりあまたある郷土玩具の中で、常に第一位を誇る「木葉猿」は、玉名郡玉葉村にある唯一の窯元永田武二氏（60才）の製作によるもので、1,300年の伝統をもつ日本最古の郷土玩具といわれている。昔ながらの土偶の気品を今の世に残す逸品で、全国の好事家に喜ばれている。

原料の土は、近くにある木葉山の赤土で無尽蔵といわれ、年間約4トン使用し、製作量は年12,000箇程度だが、それでも需要に応じきれないという。